

# ファイル入力機能を活用した がん登録業務の省力化に関する報告

株式会社麻生飯塚病院 診療情報管理室 江口 拓究

## 飯塚病院のご紹介

**開設** 大正7年(1918年)8月  
**所在地** 福岡県飯塚市芳雄町3番83号  
**病院区分** 地域医療支援病院  
地域がん診療連携拠点病院  
**診療科目** 43科  
**病床数** 1,048床  
**外来患者数** 419,602人(1,719人/日)  
**入院患者数** 300,440人(823人/日)  
**手術件数** 6,185件



## 飯塚病院のがん登録

- 対応スタッフ5名(実務者中級3名、初級1名)

### 登録件数

| 2017年 | 2018年 | 2019年 | 2020年 | 2021年 |
|-------|-------|-------|-------|-------|
| 2,263 | 2,327 | 2,424 | 2,308 | 2,445 |

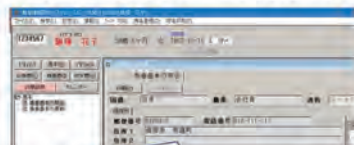
### 登録の流れ

- ① システム部門がCasefinding対象リストを毎月抽出(2022年合計15,508件 1ヶ月平均1,340件)
- ② がん登録チームのリーダーがスタッフのスキルや業務時間等を考慮し、対象リストを割り振る
- ③ 病名発生から4ヶ月後以降に各スタッフがCasefindingおよび登録作業を実施

※当院ではCasefinderは使用していない

## 取り組みの経緯と着眼点

- Casefinding、登録件数共に多く、作業時間が長い
- 氏名や住所が誤字や誤変換によるミスリスクがある  
⇒入力を効率化する事で作業時間短縮&ミスをなくしたい



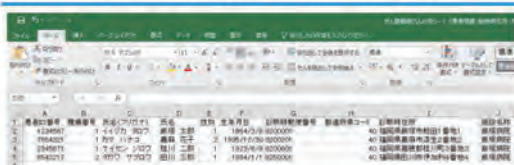
院内の患者DBにはID・氏名・生年月日・性別・住所が登録されており、Casefinding対象リストにも記載されている。これをHos-CanRに取り込めば作業時間短縮およびミス削減が出来るのではないかと?

## 方策：ファイル形式の作成



- Hos-CanRの既存の取り込み形式は「患者情報のみ」はあるが「患者情報+診断時住所」が無かったため、新しくファイル形式を作成

## 方策：取り込みシート作成



- 作成したファイル形式に沿って取り込み用のExcelを作成
- Casefindingの結果、登録対象となった患者情報を対象リストから取り込みシートにコピー&ペーストし、一括でHos-CanRに取り込む事とした

## 効果確認

～患者情報および診断時住所の入力の所要時間を比較～

- 従来の手入力  
1件当たり約1分
- ファイル入力機能で一括取り込み  
A月症例40件:3分16秒(1件当たり約4.9秒)  
B月症例57件:4分30秒(1件当たり約4.7秒)

**作業時間約90%短縮!!**

また、患者DBの情報を直接取り込む様にした事で、誤字脱字のリスクも低減した

※氏名外字の対応や、現住所と診断時住所の違い等、取り込み入力に変えても登録者によるチェックは必要である

## 結論と今後の展望

- 正確かつ効率の良いがん登録を行うためにもファイル入力機能の活用は有用である
- Casefinding用の対象シートや取り込みシートに改良の余地があるので、ファイル入力作業の更なる効率化を図りたい
- 2023年症例より入力項目に追加されたオプトアウト関連も今後はファイル入力の対象とする予定

日本がん登録協議会第32回学術集会  
COI開示

筆頭演者名：江口 拓究

当演題発表に関連し、  
開示すべきCOIはありません。